
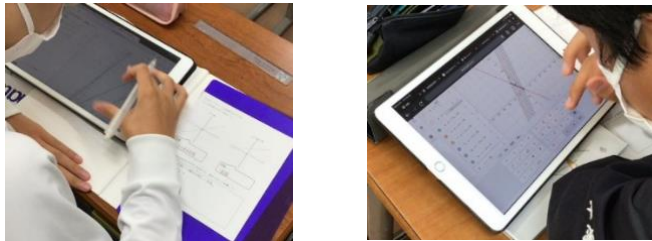


# ICT 実践レポート

作成者: 岐阜市立加納中学校 二村遼太郎

学年	【活用1】第1学年 【活用2】第2学年
教材	【活用1】「文字と式」大日本図書 p92 【活用2】「1次関数」大日本図書 p73
活用したソフト・アプリ	・Microsoft Teams ・Geogebra (グラフの描画機能)
活用の場面	課題解決に向けて、生徒が主体的に操作をしながら調べ、考察をする場面
活用した ICT 機器	・iPad (生徒一人一台) ・大型モニター (教室備え付け)
活用の実態	<p>【活用1】 第1学年「文字と式」マグネットの個数を文字を使って表す授業</p> <p>例年この授業は、マグネットが描かれた用紙を複数枚配り、それに必要なことを書き込ませていたが、今年はタブレットで送った画像に自由に書き込むことができるようにした。</p> <p>個人追究だけでなく、グループ交流、全体交流にも、タブレットで作成した画像を利用した。</p>  <p>【活用2】 第2学年「1次関数」1次関数のグラフの特徴を調べる授業</p> <p>1次関数 <math>y=ax+b</math> のグラフは、<math>a</math> や <math>b</math> の値によってどのような特徴をもつのかを、Geogebra のグラフ描画機能を使って確かめ、まとめるということを行った。教師主導ではなく、生徒が自分で描きたいグラフを決め、主体的に取り組み、自分で課題解決をすることをねらいとした。</p> 
生徒の反応	<p>【活用1】</p> <p>タブレットを使うことで、グループ交流や全体交流がしやすく(見やすく)なり、意欲的に説明し合う姿が見られた。また、より仲間に伝わりやすくするためにはどのように図を使うと良いのかを考えるといった、相手意識をもつ姿もあった。</p> <p>【活用2】</p> <p>自由にグラフを描くことができるということに楽しさを見いだしていた。無数にグラフを描くことができるため、式によるグラフの特徴を簡単に調べることができていた。</p>
振り返り	<p>○タブレットを使うことで、線の使い方、色の工夫など、生徒一人一人が自由に自分の表現をすることができた。</p> <p>○教師主導(与えられる)ではなく、生徒が主体的となり、「自分で学ぶ」ことの楽しさに気づき、意欲的な学習をすることができた。</p> <p>○ICT を活用することで、マグネットが描かれた用紙や座標平面など、紙媒体を教師が用意する必要がなくなった。教員の働き方改革にもなっていると感じた。</p> <p>▲タブレットを使うことが目的となってしまう、考察までとどり着かない生徒もいた。ノートで学習するとき以上に、生徒の学習状況の見届けをやり切らなければいけない。</p>